

公益社団法人 全国学校栄養士協議会報	平成 27 年 8 月 第 66 号
	発行 公益社団法人 全国学校栄養士協議会 電話 03 (5790) 0071

全学栄ホームページ <http://www.zengakuei.or.jp/>



栄養教諭制度創設から10年が経過しました。この間、私たちは学校給食の管理と児童生徒への食の指導を行うことを基本として、関係方面との連携調整を図りながらその充実に努めてきました。新しい職種としての立場の確保や職務の展開など、新たな道をつける大きな仕事を困難に立ち向かいながら頑張ってきました。

これからは、これらの仕事を体系的に整理し、やらなければならない内容に足並みをそろえて取り組んでいく必要があります。本会では「新しい食育」～小学校編～を刊行しました。そのカリキュラム内容を、みなさまの学校の「食に関する指導全体計画」の中にしっかり位置づけ、食の指導に取り組んで頂きたいと思えます。

今年度は、「新しい食育」～中学校編～を刊行予定です。更なる充実の年になるよう、みな様のご協力をお願いいたします。

公益社団法人 全国学校栄養士協議会会長
 長島 美保子



〈目次〉

- 公益社団法人 全国学校栄養士協議会 組織・事業活動一覧・・・ 2
- 役員紹介・・・ 5
- 学校給食調査官に齊藤るみ先生が就任・・・ 6
- 第57回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会(大阪府)の案内・・・ 6
- 第10回食育推進全国大会inすみだ 出展報告・・・ 7
- 都道府県だより・・・ 8

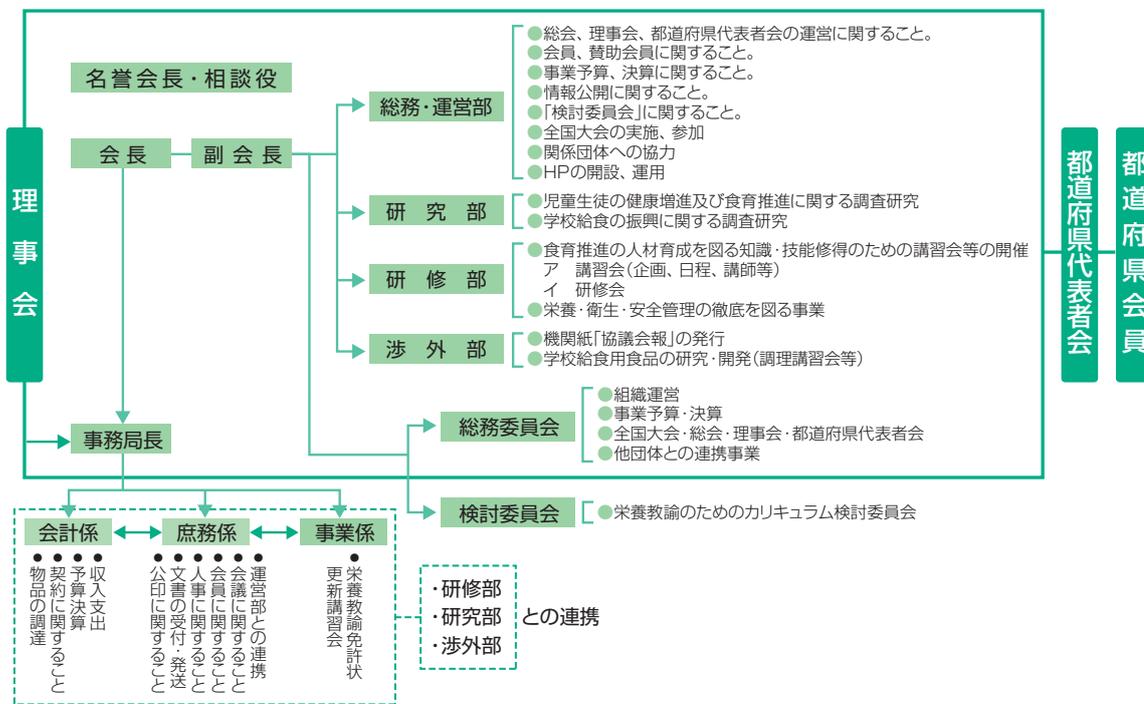


(第42回定時総会)

公益社団法人全国学校栄養士協議会 組織・事業活動一覧

公益社団法人全国学校栄養士協議会では事業推進のために下記組織図のとおり4部を組織し、他に総務委員会、検討委員会にて事業運営をしています。主な事業内容を紹介します。

●組織図



総務・運営部

総務・運営部は、会の運営に関する事項を広く所管します。

- 総会、理事会、都道府県代表者会の運営
- 事業予算、決算
- 各種検討委員会の運営
- ホームページの開設運用
- 全国大会の実施
- 関係団体への協力

①第42回定時総会

6月5日(金)、定時総会が行われ、平成26年度事業及び収支決算の報告、会長・副会長・理事・監事の選任等について審議、すべて承認されました。

②第56回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会

7月29日(水)、30日(木)、徳島県徳島市において、文部科学省、開催地の都道府県教育委員会とともに、学校における食育推進に向けて研究協議を行う大会を主催しました。

③栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会

平成26年度は、食の指導書「新しい食育」小学校編を作成・配布しました。27年度は、中学校・特別支援編を作成します。本書は、発

達段階に応じた具体案が板書形式で掲載、カリキュラムプランは、「栄養」「健康な生活」「食文化・感謝」の3つの領域で構成されています。今年度から食育推進講習会で「新しい食育」を活用した授業研究を実施します。

④関係団体への協力

○「早寝早起き朝ごはん」全国協議会開催イベント(春のキッズフェスタ)に参加

5月23日(土)、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、ワークショップとパネル展示、啓発資料の配布を行いました。



⑤ホームページの開設運用

(<http://www.zengakuei.or.jp/>)

本会事業の紹介や調査研究結果等を開示しています。

栄養教諭免許状更新講習の募集についても掲載してあります。

研 究 部

研究部は「食育推進事業」として学校給食週間行事の推進と食育推進リーフレットの作成・配布を行い、「健康増進調査研究事業」として研究推進のための助成事業と食生活実態調査を行います。

①学校給食週間行事の推進、

平成26年度に実施した自慢料理・親子料理教室の献立・郷土料理等と学校給食を生きた教材とした授業の学習指導案等を事例集として作成・発行します。

また今年度は、会員の参考となる特色ある食育活動の収集を行います。

【具体例】

- ・地元産食材を学校給食に活用の充実を図る活動
- ・地域の方々と学校が連携した活動

②食育推進リーフレットの作成・配布

すでに発行しているリーフレットの増刷と中学生の食生活実態調査をもとに新たなリーフレットを作成し、各種イベントで配布します。

③研究推進助成事業

会員個人または会員団体が行う食育研究に対して、1件10万円を助成します。助成を受けた会員には、都道府県代表者研修会等で研究の成果を発表していただくとともに、機関誌やホームページに掲載します。

④食物アレルギー実態調査

平成26年度に実施した食物アレルギー調査をもとにQ & A集を作成・配布し、ホームページにも掲載します。



研 修 部

研修部は、学校給食夏季講習会をはじめ、3回の栄養教諭免許更新講習会と2回の食育推進講習会の合計6回の研修会を開催します。また、研究授業方式による衛生管理研究会の実施とまとめの冊子を作成します。

①第51回学校給食夏季講習会の開催

今年度で第51回を数える学校給食夏季講習会が、7月18・19・20日の3日間、国立オリンピック記念青少年センターにおいて開催



され、全国から154人の会員が参集、自己研さんしました。講習会は、今年度着任された斎藤るみ給食調査官の講義をはじめ、栄養教諭・学校栄養職員の役割、衛生管理、栄養管理、食物アレルギー対応、心理学と多岐にわたる研修を行いました。グループワークでは、小・中・共同調理場の規模別グループと特別支援校・高校を合わせた11のグループで討議を行いました。

②栄養教諭免許状更新講習会の開催

9月からは、栄養教諭免許状更新講習会を

3回にわたって開催いたします。この講習会では、栄養教諭免許状更新に必要な選択領域18時間の単位が取得できます。毎回100人の定員募集に対し、いずれも数時間で定員に達する盛況ぶりでした。

③食育推進講習会の開催

食育推進講習会は11月、12月に2回開催します。自主研修会から地道に続けてきた食育推進講習会が評価され、栄養教諭免許状講習の認定につながりました。今年度は新しい試みとして、模擬授業に変えて、小学校の食育カリキュラムを活用して指導案を作成するグループワークを行います。自校へ持ち帰って即、役に立つ内容です。参加申し込みをお待ちしております。

④研究授業方式による衛生管理研究会の事例集作成

全国の様々な給食調理場で工夫されている衛生管理の実際を、いろいろな観点で分析しながら皆さんに紹介します。今年度も、小グループによる研究授業方式をとった研究実践が多くの施設で開催されることを願っています。

渉 外 部

渉外部は、機関誌の発行と学校給食用食品の研究開発を行います。

①機関誌「公益社団法人全国学校栄養士協議会報」の発行

会報は8月と2月、年2回発行されます。活動報告、各種大会の案内や報告、有識者の先生方からいただいた原稿、都道府県だより等の情報をお届けします。

②学校給食用食品の研究開発

○調理研究事業への参画

関係団体と協力し、全学栄製品及び全学栄すいせん製品等の食材を活用した調理研究事業に参画、学校給食の献立充実のための調

理講習会や親子料理教室の取りまとめを行います。

○災害時における非常食の開発

東日本大震災で被災した東北3県の先生方を中心に開発された「救給カレー」は、平成27年5月現在、全ての都道府県で活用され、利用状況は32万食を超えました。ライフラインが途絶えた中で救援物資が届くまでの「いのちをつなぐ」非常食として開発されましたが、自然災害だけでなく様々な不測の事態、防災教育にも活用されています。



特 徴

- ◆アレルギー特定原材料27品目不使用。
- ◆安全でおいしく国産の米、野菜を使用。
- ◆ご飯が入っていてそのまま食べられる。
- ◆容器がかさばらない。

活用方法(例)

- ◆防災の日(9月1日、3月11日等)に非常食試食体験を行う。
- ◆機械の故障で調理が出来ない時に活用する。
- ◆災害に備え「救給カレー」を備蓄しておく。

具体的活用例(非常食試食体験)



非常食試食体験：門川町立門川小学校

宮崎県門川町立門川小学校では、3月11日防災訓練と合わせて試食体験を行いました。給食放送で、被災地の小学6年生(当時)が書いた「ありがたいねえ」という作文が読まれ、命の尊さ、食べ物大切さに気付くことができました。

*当日の献立

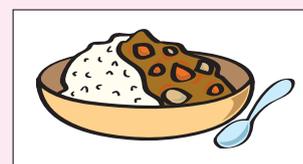
- ◆救給カレー
- ◆牛乳
- ◆豚汁
- ◆フルーツヨーグルト
- ◆うまかってん(小魚と野菜の種)

○全学栄製品及び全学栄すいせん製品の選定

全学栄製品は、全学栄の会員からアイデアを募集し、入賞作品を製品化した全学栄の開発商品です。

全学栄すいせん製品は、各都道府県学校栄養士協議会または改善協会の開発品を全学

栄理事会で検討し、学校給食用の食材として推薦できる製品に仕上げた商品です。



役員紹介 新体制で出発!!

今年度6月の定時総会において、理事19名、監事2名の選任が行われました。

理事会において、会長に長島美保子、副会長に駒場啓子、柳沢幸子(新任)が選定されました。さらに、4部の各担当を決め、新しい組織でスタートしました。

名誉会長

たなか のぶ
田中 信

「1校に1名の栄養士を、その身分は栄養教諭」を目標に昭和36年全国学校栄養士協議会を設立。次の目標は栄養教諭の必置化・職務の明確化です。

会長(西部ブロック:島根県)

ながしま みほこ
長島 美保子

担当:総務・運営部

「子どもたちの幸せを願って」学校給食・食育の充実のために力を合わせましょう。ご協力・ご支援をお願いします。

理事(東部ブロック:北海道)

ひばり かおる
雲雀 馨

担当:渉外部

全国の給食や郷土料理にふれることができ、大変勉強になります。発信していきますので、よろしくお願ひします。

理事(東部ブロック:埼玉県)

いま い ゆかり
今井 ゆかり

担当:研究部

埼玉県吉川町に6年間勤務した後草加市に移動し、学校の栄養士となって現在35年目です。

理事(中部ブロック:富山県)

かめ が い あきこ
亀ヶ谷 昭子

担当:総務・運営部

理事になってから、はや三年になります。全学栄から全国の皆さんに、魅力ある情報をお届けしたいと思っています。

理事(中部ブロック:三重県)

つじ むら なみ
辻村 波

担当:研究部

理事となり、自分の不勉強さを実感する毎日ですが、全国の仲間とともにがんばりたいと思います。

理事(西部ブロック:愛媛県)

たけ かた みゆき
武方 美由紀

担当:渉外部

「いつも笑顔で!」がモットーです。非常食にも興味がわいてきました。目標をもって笑顔で頑張ります。

理事(西部ブロック:宮崎県)

みやもと もとこ
宮本 元子

担当:渉外部

仕事は楽しくがモットー! 困難なことも皆で知恵を絞って解決しましょう。

相談役

こばやし まちこ
小林 町子

田中名誉会長のご指導のもと、栄養教諭一校一名の配置実現に向けて努力しております。会員一同団結し、全学栄の発展に頑張りましょう。

副会長(東部ブロック:栃木県)

こま げい こ
駒場 啓子

担当:総務・運営部

山の頂に立つと、また山が見えてきます。全学栄の活動も同じです。次の頂をめざし共に頑張りましょう。

理事(東部ブロック:山形県)

ましま あつこ
真嶋 敦子

担当:研修部

子供達と野菜を作り調理する活動が大好きです。笑顔で仕事ができるように頑張りたいです。

理事(東部ブロック:千葉県)

しら とり ゆみこ
白鳥 友美子

担当:研修部

熱しやすく冷めやすいおおぞっぱなA型です。性格は明るいほうだと思います。元気が取り柄です。

理事(中部ブロック:静岡県)

いけ じま ちえこ
池島 千恵子

担当:渉外部

多くの食材と海山に囲まれ、四季を肌で感じる事が大好きです。しなやかに頑張ります。よろしくお願ひします。

理事(中部ブロック:和歌山県)

まなご みき
真砂 美紀

担当:総務・運営部

2期目ですが、今期も右往左往しながらみんな頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

理事(西部ブロック:福岡県)

たか せ ゆみ
高瀬 由美

担当:研修部

会員皆様の研修が充実したものとなるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひします。

監事

やま ざき あきこ
山崎 璋子

栄養教諭誕生の年より養成短・大学で指導にあたりはや11年。全国での教諭子の活躍が何よりうれしいことです。

相談役

いち ば さちこ
市場 祥子

私の一番の願ひは、全ての子どもたちが笑顔になること。その為に栄養教諭の心が一つになることです。

副会長(中部ブロック:長野県)

やなぎ さわ ゆきこ
柳沢 幸子

担当:総務・運営部

「いつも笑顔でさわやかに」をモットーに仕事をしたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

理事(東部ブロック:福島県)

すず き ようこ
鈴木 洋子

担当:研究部

全国の栄養教諭・学校栄養職員の皆様のお役にたてるよう、努めていきたいと思っています。

理事(東部ブロック:神奈川県)

まつ もと きよえ
松本 清江

担当:研修部

研修部を担当します。明るく、楽しくをモットーに参加してよかったと思える研修会を目指して頑張ります。

理事(中部ブロック:愛知県)

はやし ゆかり
林 紫

担当:研修部

生粋の名古屋っ子。名古屋と言えばきしめんとういう。でも、ここ一番という時は、やっばり味噌かつだかね。

理事(中部ブロック:岡山県)

なか むら みゆき
仲村 みゆき

担当:研究部

「もやし大好き!」の愛犬(コーギー)を飼っています。理事の皆様の手手まといにならないよう努めます。よろしくお願ひします。

理事(西部ブロック:長崎県)

たか いね みずえ
高稲 瑞枝

担当:研究部

長崎県から初めての理事就任です。会長をはじめ、理事の皆様と力を合わせて事業推進にあたっていきます。よろしくお願ひいたします。

監事

おい かわ えみ子
及川 えみ子

新理事を迎え、本会の事業も益々充実!! 皆さんをお支えできるようスポーツジムで体力作り励んでいます。

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課学校給食調査官に 齊藤るみ先生が就任



このたび、学校給食調査官に就任致しました、齊藤るみと申します。学校給食発祥の地と言われております、山形県よりまいりました。

私はこれまで学校栄養職員・栄養教諭として山形県の公立学校や県教育委員会事務局に勤務してまいりました。山形県で初めての栄養教諭として採用して頂き、平成18年度からは指導主事として、学校における食育の推進や栄養教諭・学校栄養職員等の研修、学校給食の衛生管理等に取り組んでまいりました。周りの方々に支えて頂きながら、これまでの業務や経験を通して多くのことを学ばせて頂きましたことに大変

感謝致しております。

学校給食は、弁当を持参できない子供たちに食を提供したことが始まりとされてから、昭和29年に学校給食法が制定され、平成20年には大幅に改正されるなど125年の歴史とともに教育の一環として実施されてきました。改正学校給食法では、「学校における食育の推進」が明確に位置付けられ、また栄養教諭が学校給食を活用した食に関する指導を充実させることについても明記されました。

学校給食は成長期にある児童生徒の心身の健全な発達に重要な役割を担っております。学校給食のさらなる充実のため、微力ながら精一杯努めてまいりたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

第57回

全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会は、大阪府で開催されます

～記念品のお知らせ～

第57回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会は、平成28年8月3日(水)～8月4日(木)の日程で、大阪府において開催いたします。

開催にあたり、大阪府での食育実践事例をはじめ大阪府に関連する品々を記念品として準備いたしました。どうぞ、ご協力お願いいたします。



- ①教科と関連した食育実践事例集(CD) (2,000円)
- ②クリアフィル3枚組
[大阪・なにわの伝統野菜] (600円)
- ③泉州タオル (400円)
- ④付箋[大阪・なにわの伝統野菜] (500円)
- ⑤泉州玉ねぎドレッシング (300円)

「教科と関連した食育実践事例集」

授業の基礎・基本が詰まった、これまでにない指導案・板書計画・発問計画・細案です。

大阪府学校栄養士協議会で公開授業したものを掲載しています。

大阪は、天下の台所、太閤さんのおひざもと、くいだおれ、お笑い、伝統野菜はじめ楽しい・美味しいものがいっぱい。平成28年の夏は、大阪府へお越しく下さい。心よりお待ち申し上げます。

* 記念品の詳細・申込みについては、各都道府県代表者にお伝えしております。

* ご希望の品がありましたら、各都道府県代表者を通じてお申込みください。

第10回食育推進全国大会inすみだ 出展報告

夢をカタチに！未来につなぐ豊かな食育～手間かけて“食ではぐくむ”人とまち～

(公社)全国学校栄養士協議会 東京都代表 島崎 聡子

食育推進全国大会は、食育推進運動を重点的かつ効果的に実施する「食育月間」における全国規模の中核的な行事で、今回で10回目になります。今年度は、6月20日(土)21日(日)東京都墨田区に於いて開催されました。式典、食育推進ボランティア表彰をはじめ、ワークショップ・講演会・シンポジウム・参加団体による食育活動の展示や体験コーナーなど多彩なプログラムが行われ、来場者数は、2日間で約83,400人(区内地域関連イベントへの来場者43,600人を含む)に上りました。

本会は、墨田区総合体育館「食育展示ブース」に出展し、私共東京都の会員も参加いたしました。主な出展内容を報告します。

1. 「子供たちの食育の充実を目指して」 ～中学校給食のさらなる推進～

全学栄展示ブースのメインテーマです。壁面中央には都道府県別実施率のグラフが掲示され、県によって差があることが歴然。考えさせられます。自治体によって様々な条件や厳しい現状もありますが、将来を担う子供たちの健やかな成長を願うならば答えは一つ。グラフの伸びが等しく頂点に並ぶよう訴え続けなければ、と改めて気を引き締めます。

2. 子供も大人もやっぱり「金メダル」!

毎年恒例の栄養クイズです。バランスのとれた食品の組み合わせ(3群・6群)についてカードを使って学びます。金メダルは参加した子供たちを対象とした賞品でしたが、中には「私にも!」と所望される大人のかたも。金メダル授与数は2日間で240個になりました。栄養士を目指す学生の参加も目立ち、「間違えた子供にはどのように声をかけたらよいのか」と将来に向けて質問を受ける場面もありました。



多くの来場者で賑わった全学栄ブース

3. 美味しく楽しい「学び」が満載

壁面には、朝食や牛乳の重要性についても掲示し、全国からお寄せいただいた給食便りやリーフレット等食育推進啓発資料を配布しました。また、全学栄推薦品の紹介や配布もありました。多くの力をいただいていた全学栄ブース。その広さと深さを実感しました。



4. 「えっ?東京で〇〇!?!」

地元東京のコーナーには、「東京産物マップ」を掲示しました。「えっ東京で魚!?野菜!?牛乳!?!」そうです!海、田畑、島、牧場などからの様々な恵み、そして江戸から受け継がれる食文化があります。東京だからこそ味わえる「東京の味わい」が多くあり、学校給食にも登場します。そのことを紹介すべく、ささやかながらチーム東京で作成。改めて東京を見つめ直す貴重な機会になりました。



国分寺市産ブルーベリーも枝つきで展示

～次回開催地は、福島県です。～



都道府県だより

群馬の伝統色「おっきりこみ」！！

群馬県は平成26年度より県を挙げて伝統食である「おっきりこみ」をPRしています。学校給食でもたくさんの地場野菜を使っています。第2期群馬県教育振興基本計画の学校給食における県産食材使用割合の目標値に近づけるよう献立作成などに努力をしているところです。

群馬県学校栄養士会自主研修で「群馬らしい給食のすすめ」と題して、群馬県の関係各所の職員を招き、パネルディスカッションを行いました。パネリストには群馬県の名物として、伝統食をアピールする「群馬県おっきりこみプロジェクト」やおもてなし料理である「群馬県すき焼きプロジェクト」を担当する広報課ぐんまイメージアップ推進室の方。施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的とする「群馬県食育推進計画」を担当する保健予

防課健康増進専門官。県産農畜産物の魅力を全国に発信する活動「ぐんま・すき焼きアクション」を担当するぐんまブランド推進課の方。畜産物の流通、消費拡大対策を行う「食肉のすゝめ！推進委員会」の事務局を担当する畜産課の方たちが、熱くぐんまの農畜産物についてお話してくださいました。

このように関係各所が一同に集うことは初めてで、改めて「食」はすべてのことにつながるのだということを実感しました。「食」に対して様々な立場で意見交換をすることができるこのような機会を群馬県学校栄養士会では今後も積極的に設けていき、切磋琢磨していきたいと思えます。

群馬県代表者 坂本 明美

会員が全力で行う滋賀の湖っ子食育

滋賀県は、栄養教諭・学校栄養職員研究会の中に協議会があり、ほぼ全員が加入しています。約90名と会員数は少ないのですが、一致団結し、食育に取り組んでいます。

研究会では年3回の全体研修と7つのブロックで授業研究、衛生管理研究等を行い、それを夏の実務研修会で発表しています。今年度は「野菜たっぷり朝ごはん」をテーマに、創作料理のシェフとコラボし、地場産物野菜のレシピ開発や、給食を教材とした「朝ごはんの大切さ」や「野菜を食べよう」などの授業研究を行っています。また、私たちが作詞したオリジナル野菜ソングの作成も進めているところです。

実務研修会で行う調理実習では、調理の前に作業工程表を作成し、誰が、どこで、何を、どのように調理するか、また、衛生管理のポイントは何かを確認してから調理を行っています。滋賀の食文化研究会から講師をお招きし、伝承料理を学び、その後、調理技術や衛生管理について5つのポイントで自己診断をしています。

このように、会員全員が全力で行った研究を、毎年CDにまとめ、将来を担う子ども達のための食に関する指導の充実に生かしています。

これからも、会員一同、心をひとつにして頑張っていきたいと思っています。

滋賀県代表者 小川 孝子

子どもが作る「ふくおか弁当の日」

福岡県では、児童生徒が健全な食生活を実現し、心身の健康増進と豊かな人間性を育むことができるように、農林水産部・教育委員会が相互に連携を図りながら、「弁当の日」の取り組みを推進しています。家庭科の学習内容と関連させたテーマを設定したり、小学校低学年でも取り組みやすいように、おにぎり弁当を実施したりしています。また、子どもたちが意欲的に弁当作りに取り組むことができるように、テーマにあった調理法を使って弁当のおかずとなる料理を学校給食で実施し、具体例として給食を活用した指導を行い、弁当の日の実践につなげている学校もあります。「弁当の日」にむけての調理講習会では、昼休み時間を活用して、栄養教諭によるお弁当教室を開催し、簡単なおかずの作り方を実演した後子どもたちが作っています。また、地域の食材を使った地域の

伝統的なおかず等を地域の「食進会」の方を招き、児童生徒や保護者と調理して、弁当作りに活かしています。子どもたちは自分で弁当を作ることによって、「食」への関心が高まっています。また、弁当作りの苦勞を感じることで、食事を作る人



お世話になった地域の人に1品持ち寄り弁当

に対して感謝の気持ちが高まり、給食の残菜が少なくなっています。弁当作りを通して、家庭における「食」についての会話が増え、食への関心も高まっています。

福岡県代表者 大江久美子